



©2005 石塚真一/小学館

<令和6年(2024年) 10月10日>

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ 特別隊員 島崎 三步 の「山岳通信」

長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報を提供しています。

■北アルプス ツキノワグマ 出沒警報！

期間：9月9日(月)～10月14日(月)

区域：北アルプス・佐久・上伊那・木曾・北信の各地域

長野県内では、ツキノワグマの人身被害の発生・目撃件数が増加しています。このため、これまで出ていた「出沒注意報」が「出沒警報」に引き上げられました。北アルプスの登山道等でも、目撃情報が多い、寄せられています。登山の際は、クマとの接近をできるだけ避けることが重要です。そのための準備や対策を登山計画の作成段階から十分に検討するようお願いします。

【参考：ツキノワグマによる人身被害を防ぐために】

<https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/sangyo/ringyo/choju/joho/onegai/jinshin.html>

【出沒警報プレスリリース】

https://www.pref.nagano.lg.jp/shinrin/happyou/20240909kuma_press.html

■「秋山情報」を作成しました。#合言葉は無事下山

鮮やかな紅葉に包まれる秋山は、多くの登山者を魅了し、毎年、紅葉シーズンを中心に県内外から多くの登山者が信州の山々に訪れるほか、きのこ採りなど「山の幸」を求めて入山する人も数多く見られます。一方で、この時期、滑落や道迷い、低体温症、準備不足による行動不能などの山岳遭難が多発しています。秋山は周期的な晴天に恵まれやすく、気候的にも登山に適していますが、日没時刻が早く、天候もひとたび崩れると真冬並みの寒さになるなど、秋山特有のリスクがあります。「秋山情報」では、過去の遭難事例や秋山登山における注意点などを紹介します。安易な気持ちで登山することなく、最新情報の収集と事前準備を入念に行い、体調を万全にして入山しましょう！

<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html> 長野県警察

～信州の山小屋応援・山岳遭難防止対策プロジェクト～ 信州の安全登山の推進に御支援を！



【寄付募集サイト】



■ 遭難発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
10/1 火	北アルプス 槍ヶ岳	男	71	負傷	転倒	単独で、槍ヶ岳から上高地に向けて下山中、足を滑らせて転倒、負傷
10/1 火	八ヶ岳連峰 蓼科山	男	71	負傷	転倒	2人パーティで、七合目登山口から山頂に向けて登山中、バランスを崩して転倒、負傷
10/2 水	八ヶ岳連峰 赤岳	男	21	負傷	転倒	2人パーティで、赤岳から地蔵尾根を下山中、スリップして転倒、負傷
10/3 木	佐久市協和地籍の山林内	男	77	無事救出	道迷い	12人パーティできのこ採り中、道に迷い、行動不能
10/4 金	北アルプス 奥穂高岳	男	77	死亡	疲労	2人パーティで、前穂高岳から奥穂高岳に向けて登山中、体調不良等により行動不能
		男	49	無事救出	疲労	
10/5 土	上田市武石上本入地籍の山林内	男	57	死亡	滑落	2人パーティできのこ採り中、滑落
10/5 土	雨飾山	男	70	負傷	転倒	単独で、雨飾山から登山口に向けて下山中、転倒、負傷
10/5 土	下伊那郡豊丘村の山林内	男	77	無事救出	その他	単独できのこ採り中、夜間のため装備不足により、行動不能
10/6 日	八ヶ岳連峰 赤岳	男	73	負傷	転倒	2人パーティで、赤岳に向けて登山中、転倒、負傷
10/6 日	北アルプス 爺ヶ岳	男	68	負傷	転倒	2人パーティで、爺ヶ岳から下山中、転倒、負傷
10/6 日	北アルプス 屏風ノ頭	男	65	無事救出	疲労	単独で、涸沢に向けてパノラマコースを登山中、体調不良により、行動不能
10/6 日	八ヶ岳連峰 稲子岳	男	68	無事救出	道迷い	2人パーティで、にゆうから下山中、道に迷い、行動不能
		女	64	無事救出	道迷い	

■長野県警 山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス！

先週、長野県内では12件の山岳遭難が発生しました。

10月6日に北アルプス、穂高連峰の屏風のコル付近で発生した山岳遭難は、単独でパノラマコースを涸沢に向けて登山中、体調不良により行動不能となったものです。幸い怪我はありませんでしたが、熱中症の諸症状が見られ、周囲の登山者から救助要請があったものです。

今回のような熱中症に限らず、高山病や持病、ひざ・腰の古傷の悪化などが原因で行動不能になってしまう遭難が多数あります。

登山は強度の高いスポーツで、体への負担も大きくなるため、

▼高山病になりやすい方

高山への入山を控える(標高1500mでも高山病を発症する方はいます)

▼持病のある方

過去には狭心症や心筋梗塞等の病歴のある方が、登山中に発症し亡くなる遭難が発生しています。慎重に検討しましょう。(すぐに病院に行くことはできません)

▼行動中に自分の体調をよく確認する

古傷の膝が痛くなってきた(登れても下山できないかも?)
たちくらみ、めまい、足のつり(熱中症では?)

という点に注意していただき、**無理のない範囲で登山を楽しみましょう！**

長野県には車で行くことができる高原や景色の良い場所が多くあります。

自身の体力や体調に合わせた楽しみ方を見つけましょう！

■令和6年(2024年)中の山岳遭難発生状況

令和6年(2024年)1月1日～10月6日

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和6年	273	41	1	128	128	298	170
内)単独登山	95	17	1	38	39	95	56
令和5年	270	33	3	149	110	295	185
内)単独登山	96	14	0	50	32	96	64
前年同期比	+3	+8	-2	-21	+18	+3	-15
内)単独登山	-1	+3	+1	-12	+7	-1	-8

<参考>

キノコ採り中の遭難……発生6件(死亡3件、負傷1件、無事救出2件)

■山域別発生状況 令和6年(2024年)1月1日～10月6日

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	57	20.9%	11	1	29	23	64
	後立山	54	19.8%	9	0	23	29	61
	その他	29	10.6%	3	0	12	18	33
	計	140	51.3%	23	1	64	70	158
中央アルプス	21	7.7%	3	0	9	11	23	
南アルプス	4	1.5%	0	0	4	0	4	
八ヶ岳連峰	51	18.7%	5	0	27	21	53	
その他の山岳	57	20.9%	10	0	24	26	60	
計	273		41	1	128	128	298	

■態様別発生状況 令和6年(2024年)1月1日～10月6日

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	78	28.6%	23	0	57	0	80
転倒	63	23.1%	0	0	63	0	63
病気	13	4.8%	5	0	0	8	13
道迷い	36	13.2%	0	0	0	43	43
落石	3	1.1%	0	0	4	0	4
雪崩	5	1.8%	2	0	2	3	7
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	43	15.8%	4	0	0	43	47
不明・他	32	11.7%	7	1	2	31	41
計	273		41	1	128	128	298

■男女別・年齢別比率 令和6年(2024年)1月1日～10月6日

区分	男性					(人)	女					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	2	4	6	42 19.6%	0	0	1	1	2	9 10.7%	8	51 17.1%
20代	2	0	7	9	18		1	0	1	3	5		23	
30代	5	0	3	10	18		0	0	1	1	2		20	
40代	5	0	8	9	22	80 37.4%	0	0	5	6	11	37 44.0%	33	117 39.3%
50代	10	0	25	23	58		2	0	15	9	26		84	
60代	7	1	23	16	47	92 43.0%	0	0	15	7	22	38 45.2%	69	130 43.6%
70以上	9	0	14	22	45		0	0	8	8	16		61	
計	38	1	82	93	214		3	0	46	35	84		298	
比率	71.8%						28.2%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光スポーツ部山岳高原観光課」までお寄せください。
mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会